

real Zambia

Youth Dayに 向けて “マーチング練習”

「明けましておめでとうございます」と言うにはあまり月日がたってしまいました。前回の通信よりずいぶん間が空いてしまいましたが、2004年こそ！ザンビアのあれこれをお伝えしていこうと思っています。

3月12日は **Youth Day** (ユースデイ。日本でいう“こどもの日”でしょう。) で**祝日**。その日に軍隊、けい察官、そして首都ルサカ市内 81 校が Freedom Stadium (フリーダムスタジアム) の前に集まり、大統領の前でマーチングをします。マーチングとはどういうものかわかりますか？私が小さいころは、運動会の入場で全員そろって行進していましたが、今、日本の学校で行進をしている学校は少ないのではないのでしょうか。

「いちに、いちに・・・」と全員で足をそろえて行進するのです。行進の仕方は日本もザンビアも変わりません。ただ、手はにぎりこぶし、ステップも時々変わります。

“Right Left! Right Left!” (右ッ 左ッ!) という声に合わせて行進をし、“Change step!” (ステップの足を変えて!) という声がかかると、足をいっしゅん地面にすってリズムをずらし、右足と左足のステップを変えます。

しかし、なんととっても楽しいのが、この**マーチング練習に行くバスの中**、そして**待ち時間**。バスに乗ったとたん、手拍子とともに歌を歌い始めます。リードする子がいて、その子に続いて全員が声高らかに歌う。とちゅうで歌を変えたい子がいると、歌っている最中でも自分の歌いたい歌をリードして歌い始める。他の子も続いて歌う。バスの中、トラックの荷台は大合唱の嵐。言葉は全て現地語で分からないのですが、時々「♪・・・かおり～」などと私をたたえる歌も歌ってくれます。1校 40 人がマーチング練習に参加しているので、行き帰りの車の中は 120 人ほど！役割など決めなくても、きれいなハーモニーで歌っています。Freedom Stadium の前に集まってくる時は、車のエンジン音より、子ども達の大合唱で「あ、また他の学校がとう着したな。」と分かるほど。

81 校が集まるのは2,3時間かかるのですが、待っている間も**歌い、おどる。すばらしいリズム感、美しい歌声**。しかし、うまく歌おう、おどろうとしている人はいません。心から楽しんで合唱しているのです。じゅんびしなくても、すぐ楽しい時間を作ることができるザンビアの人達。すてきだと思いませんか？



今日のひとコマ。マーチング練習の時に会った他の学校の先生と・・・。

「香といっしょに写真をとりたい。」言われて、いっしょにとった写真。それなのになぜ、わざわざちがう方向を見ているのでしょうか・・・。

この日、私はマーチング練習の引率をしたのですが、マーチングの時は荷物、カーデガン、アクセサリーをつけてはいけならしく(時計さえも)、荷物もちになっていました。…先生が荷物持ち？！